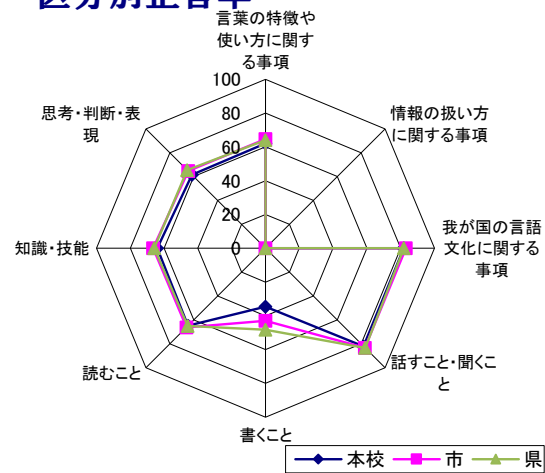


宇都宮市立豊郷南小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使い方にに関する事項	62.1	64.7	64.1
	情報の扱い方にに関する事項	0.0	0.0	0.0
	我が国の言語文化にに関する事項	81.8	83.1	81.9
	話すこと・聞くこと	82.1	83.3	83.4
	書くこと	34.6	42.8	48.2
観点	読むこと	64.8	66.1	65.1
	知識・技能	64.0	66.5	65.9
	思考・判断・表現	61.6	64.6	65.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方にに関する事項	・領域の正答率は、62.1%と市の平均と同程度である。 ●漢字の書きに関する設問の正答率は、市よりも8.3ポイント、10.4ポイント下回っている。 ●熟語の組み合わせに関する設問の正答率は27.3%で、市よりも5.7ポイント低い。	・朝の学習や家庭学習で漢字練習を繰り返し行い、定着を図る。 ・朝の読書や図書室利用の時間を活用し、言葉に触れる機会を意図的に設ける。
我が国の言語文化にに関する事項	・領域の正答率は、81.8%と市の平均と同程度である。 ○	・ことわざの意味の定着を図る。 ・ことわざを文章を書いたり、自分の考えを表現する言葉を増やし、言葉のよさにふれる機会を設けていく。
話すこと・聞くこと	・領域の正答率は、82.1%と市の平均と同程度である。 ○話し手が伝えたいことの中心を捉える設問の正答率は88.9%で、市と同程度である。 ○話の中心を明確にするための話し手の工夫を捉える設問の正答率は79.8%で、市と同程度である。	・国語や学級活動で話し合いの形態を工夫し、自分の考えとの共通点や相違点を比べながら聞くことをできるようにする。 ・朝のスピーチ等で伝わりやすい話し方を示し、それを意識しながら発表させる。
書くこと	・領域の正答率は、34.6%と市の平均より低い。 ●内容の中心を明確にし、事実を伝える文章を書く設問の正答率は25.3%で、市よりも11.2ポイント低い。 ●指定された長さで文章を書く設問の正答率は40.4%で、市よりも9.9ポイント低い。	・量やテーマを指定して、文章にまとめる活動を取り入れていく。 ・算数や社会、総合的な活動の時間などで資を料を読み取る時に、内容の中心を見つけさせて、それに合う文章を書く活動を繰り返し行う。
読むこと	・領域の正答率は、64.8%と市の平均より低い。 ○登場人物の心情を考える設問の正答率は36.4%で、市と同程度である。 ●文章を読んで感想や考えをもつことに関する設問の正答率は63.6%で、市よりも5.9ポイント低い。	・様々な分野の本に触れる機会を増やす。 ・物語文の学習では、登場人物の心情を考えたり話し合ったりする活動を取り入れ、具体的に想像できるようにしていく。